



### 荒牧 弘敏 議員

## コモンパーク彩葉の造成完了か

福田企画情報課長 すべて造成が完了し販売中



コモンパーク彩葉

**問** 事業費総額及び販売予定総額は。 **福田企画情報課長** 事業費総額は6億5400万円、販売予定総額は2億326万円である。

**問** 販売実績、町内外者の購入者状況、坪単価最高・最低価格・平均価格は。 **福田企画情報課長** 販売実績は2月末36区画、町内5名、町外27名、坪単価最高5万2千円・最低2万8千円・平均価格4万2千円である。

**問** 現在12社の委託業者で販売を行っているが、今後新規業者の加入は。 **福田企画情報課長** 建築協定の基準を満たせば対象業者となること

**問** 今後の職員数は。 **福田企画情報課長** 現在、具体的な計画はないが、将来を見据え適地の検討などを行うことを考えている。

**問** 町民の声はどのように反映するの。 **福田企画情報課長** 住民の代表である議会議員の意見などもいただきながら、必要に応じて審議や意見広聴の場を設けていきたいと考えている。

はできるが、現在受付はしてない。今後随時受付をしていかなくはと考えている。

**問** 未販売区画の管理は。 **福田企画情報課長** 除草費用について、平成27年度当初予算で65万円程度計上している。

**問** 新町建設計画での正規職員・臨時職員の要員計画は。 **川口総務課長** 平成27年度87名、平成28年度89名、平成29年度から平成32年度まで87名の計画である。なお、平成19年の町定員適正計画では、平成28年度は82名の計画であるが、国、県からの権限委譲、各課所管事業量から現在の職員数を減員することは、住民サービスの低下を招くと予測されるので困難である。今後、平成29年度からの町定員適正計画の見直しを行うので変更もある。臨時職員については、51名であり事業量により増減するが、この職員数で計画している。

## 町が取り組む事業

**問** 大池公園周辺の開発計画について。 **今任副町長** 基本構想については

3月末を目途に委託業者が進めており、できた段階で大きな方向性は示せる。なお、計画の実施については、東九州自動車道との連結部分がネクスコ西日本などとの協議の進捗状況に影響されることから、確実な答えは困難であるが、3年から5年を想定している。

**問** 企業誘致の計画について。 **福田企画情報課長** 現在、具体的な計画はないが、将来を見据え適地の検討などを行うことを考えている。

**問** 企業誘致については自動車関連が主体か、それとも他の業種か。 **坪根町長** 自動車関連に限らず、優良企業であれば歓迎する。

**問** 農業者支援は。 **永野産業振興課長** 基準については認定農業者、集落営農組織、小規模経営農業者、園芸農業者、果

樹栽培農業者、加工品製造農業者などに区分される。現時点でお答えできる支援は、平成27年度予算に計上している6次産業化の一環で取り組む町内生産者と加工品製造業者との連携による上毛産ブランド商品の開発に対する補助金の支援である。平成26年度、町長から、町農業者に対して本町に必要な町の支援を検討する指示が出されており、9月議会でも本年度中に答えるということであったが、もう少し時間をいただきたい。

**問** 平成27年度産米の転作率と本年度実績については。 **永野産業振興課長** 平成27年度産米の転作率は、46.3%の計画であり、現在農家の皆さんから出された計画書を取りまとめ中である。本年度は転作率45.2%の計画に対し実績48.1%である。

**問** 農地の集積状況と今後の計画について。 **永野産業振興課長** 現在、認定農業者397.2ha、集落営農組織29.3ha、合計面積426.5haであり、集積率約45.9%である。今後は国の成長戦略の中で10年後には8割の計画であるので、町の農地面積約930haに対して約750haの集積計画で町の農業形態の動向を見据えながら取り組んでいきたい。



### 三田 敏和 議員

## 誘致企業に積極的なアプローチを

坪根町長 トップセールスで動く

**問** 昨年、企業より進出の問合せがあったと聞くが内容は。 **福田企画情報課長** 昨夏、県を通じて自動車メーカーの一次サプライヤーから適地候補(7千㎡)の打診があった。適地候補がなく、その旨を回答した。

**問** 上毛スマートーCの開設に伴い、工業団地取得は必須と思うが、その時期は。 **福田企画情報課長** 早急に対応したいが、3年から数年かかる。

**問** 時間が掛かり過ぎるのでは。 **坪根町長** 相手もあり、できるだけ早急にと考えている。

**問** 取得のステップは。 **福田企画情報課長** 行政でエリアを決め、開発公社で事務処理を行う。

**問** 町として企業に積極的にアプローチすべきでは。 **坪根町長** 今までは県に依存していた。トップセールスを公約に掲げて開発交流推進課も新設した。しっかりと動いて攻めていきたいと考えている。

## 新町建設計画の進捗は

**問** 図書館の拡充は。



げんきの杜図書館

**問** 尾崎教務課長 蔵書数が2万冊から3万冊に増えている。また児童向け図書の場合が他の市町より多く、充実している。

**問** 図書館は教育委員会の業務である。幼児もすこせるスペースも必要と考えるが。 **百留教育長** 社会福祉協議会に委託しているが、条例にあるように、本来教育委員会の業務の一つである。図書館の機能として幼児スペースの確保や専門書も必要であるが、広くしたい希望はある。

**問** 館長は条例から見ても重要な役割をもつ。兼務は難しいのでは。 **百留教育長** 図書館長は局長が兼務している。司書は社協が雇用し、他に行政より地域活動支導員が1

名加わっている。館長から依頼があり、教育委員会の指導主事も手伝っている。

**問** 新書の購入は。 **尾崎教務課長** 指定管理料に含まれているが、年間2百万円程度購入している。

**問** 学校図書費より少ない。法律などの専門書も必要ではないか。 **百留教育長** 図書数だけではなく、内容の充実も必要である。図書館の運営と内容については町長からの同意もあり、協議を進めていく。

**問** ワンストップサービスの将来像は。 **坪根町長** 4課を1課にまとめ

**問** ノンストップサービスとして、コンビニでの証明書発行となるか。 **福田企画情報課長** 将来住民サービスとして制度の取り入れも必要と考える。

**問** 近隣市町でインターネット光回線の導入が末端までないのは上毛町だけでは。 **福田企画情報課長** 現状を再認識し、解消に向け検討していく。

**問** 道路の新設、拡幅、改良の状況は。 **古原建設課長** 順調で生活道路が充実した。

**問** コミュニティバスの自動ドアに不具合があると聞くが。 **川口総務課長** 故障の報告は受けている。臨時的に町の10人乗りのバスを代替し対応している。

**問** 防犯灯が生活道路など、特に山間部で少ない所がある。 **川口総務課長** 安全安心の面で当然必要だ。通学路などの要望はおおむね整備できた。これからは地域、自治会長から要請があれば対応する。